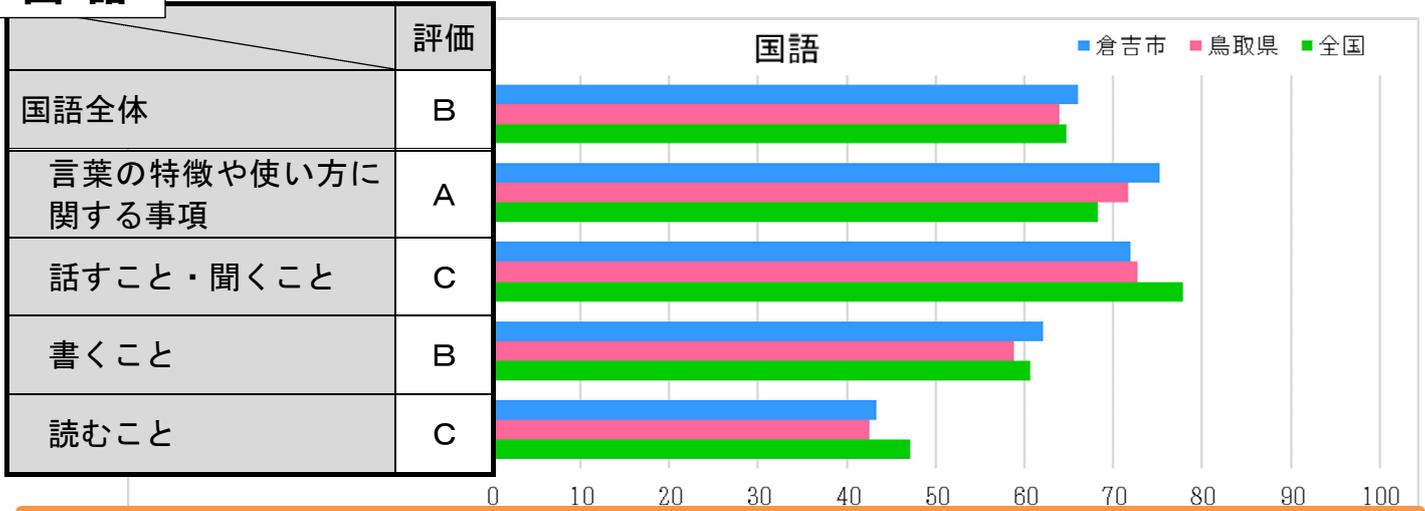


令和3年度全国学力・学習状況調査【小学校・教科の調査から】

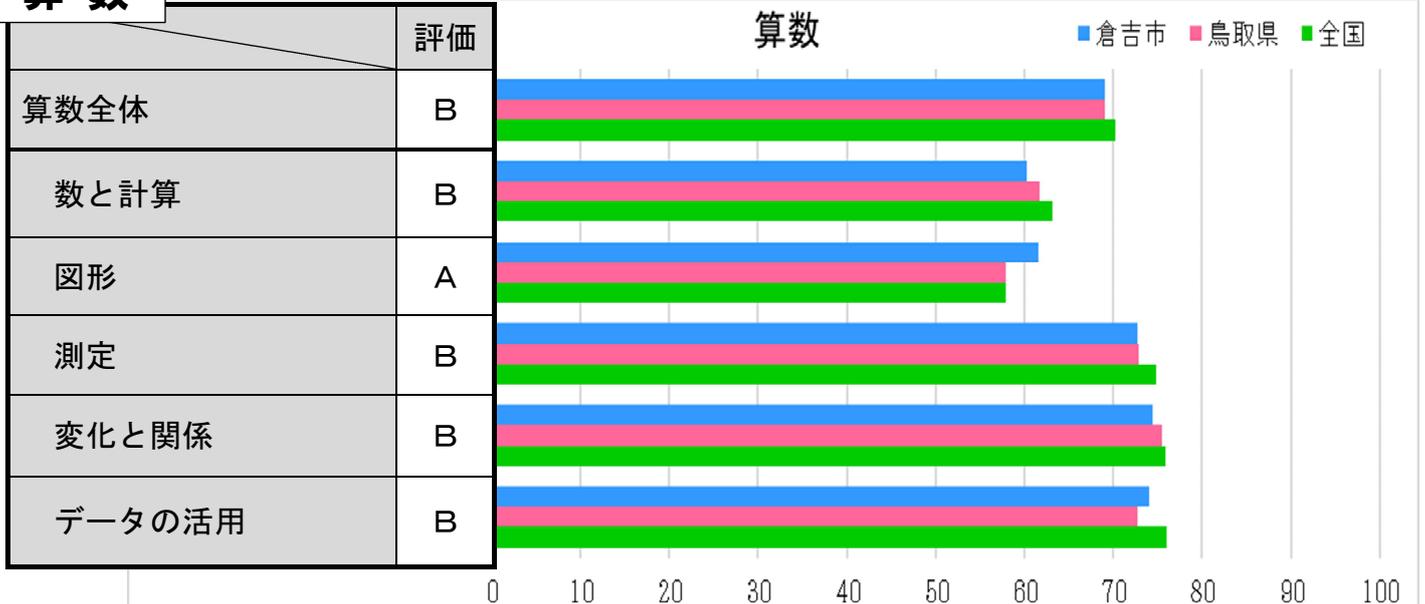
国語



全体の平均正答率は、全国平均を1.3ポイント、県平均を2.0ポイント上回りました。

- ・「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する問題は、全国平均、県平均を大きく上回りました。特に、「語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う」ことや「字を文の中で正しく使う」ことがよくできていました。
- ・「話すこと・聞くこと」のうち、「目的に応じて話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える」問題の正答率が、全国平均や県平均と比べて低い数値でした。文章に示されている内容について、事実なのか感想なのか等を区別してとらえる力に課題がありました。

算数



全体の平均正答率は、県平均と同率で、全国平均からは1.2ポイント下回り、ほぼ平均レベルの学力でした。

- ・「図形」の問題において、三角形や四角形、あるいは複数の図形を組み合わせた図形の面積を求めたり比較したりする問題がよくできていました。
- ・「数と計算」において、道のりを求めたり2つのコースの道のりの差を求めたりする力にやや課題がありました。

評価について

A : 全国平均との差が+3%を超える

B : 全国平均と同等から±3%まで

C : 全国平均との差が-3%を下回る